

茨木 SC 研究会 日記

第 5 話 「学校」の中の「心理」職 の巻

8月に行われた「学校臨床心理士会」に参加した出席者同士で、そこで学んだことや疑問に思ったことを、共有しあった回でした。

心理臨床学会とは全く違った雰囲気だったことや、期待していた中身とは少々ズレ気味だったことなど出し合いながら、お初に体験した(人の多かった)この研修から、そんな中でも何を、どのように今後活かしていくかなど、違った切り込み口から改めて学びを深められた時間でした。

最後に、「心理」の立場で「学校」の中で働くということの葛藤場面をもとに、SCとしての在り方(ケースの子どもへのかかわり方、学校という組織の中での動き方)を検討しました。

記 録 : さかも (臨床心理士)

日 時 : 2011年9月24日(土) 19:00-21:00

場 所 : 茨木市男女共生センター ローズ WAM

参 加 者 : 5名(大阪SC、兵庫SC、京都SC)

本日の話題

1. 「学校臨床心理士」と「臨床心理士」
2. SCもカメレオンのように
3. 「心理」と「教育」の狭間で・・・